

第7回チャイルドライン全国フォーラムinみえ 子ども支援フォーラム ～子どもの声が地域・社会を変える～ 11月26日(土) 27日(日) 三重県総合文化センター

全国のチャイルドラインに関わる人々が一堂に集うフォーラムです。三重県では子ども支援団体や行政、企業が集まり、三重県のすべての自治体に「子ども権利条例」を制定することをめざしています。

三重県子ども条例学習推進事業

子どもの権利って!?

今年3月、三重県子ども条例が制定されました。条例の推進にあたって子どもと関わるさまざまな大人が、子ども条例を正しく理解し、子育て支援の現場で担う役割や、子どもとの関わりについて考え合いたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

日時 10月22日(土)

13:30~16:00

場所 松阪市花岡地区市民センター
2階会議室

(三重県松阪市大黒田町1235-2)

講師 秋山則子さん

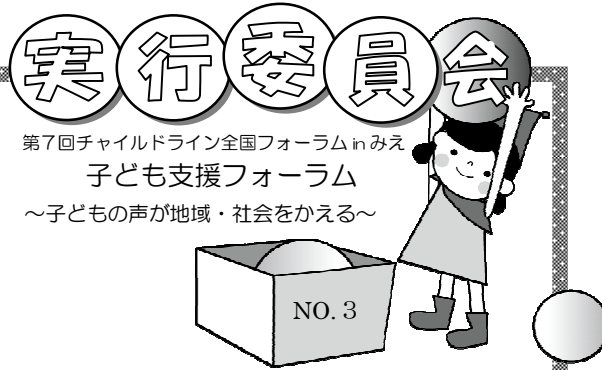
(特)三重県子どもNPOサポートセンター
副理事長

- 子ども条例の趣旨説明
- 講座「子どもの権利って!?!」
- グループディスカッション

主催：三重県

受託団体：(特)三重県子どもNPOサポートセンター

企画・運営：子どもの権利を考える市民委員会



第7回チャイルドライン全国フォーラムinみえ
子ども支援フォーラム
～子どもの声が地域・社会をかえる～

実行委員会も第10回目を迎え、チラシもできました。具体的な内容・参加目標を出しあい、松阪はオープニングの参加目標を100名にしました。チャイルドライン関係者だけでなく、行政や地域で子ども支援に関わっている方をお誘いして、このフォーラムで一緒に学び、話し合いたいと思います。子ども支援に関心を持つ人が増えることで、地域の子どもたちの育つ環境が変わることを願っています。

□■「子ども支援」ってなあに?■□

実行委員会では「子ども支援」について話し合いを重ねています。

わたしたちは、大人が主体となって子どもを保護し指導する育成型の支援ではなく、子ども自身の主体を尊重し、子ども一人ひとりの「今」に寄り添う「子ども支援」をめざしています。

(特)松阪子どもNPOセンターは 子育て・子育てをささえます

興味を持ったら、参加したいと思ったら、たのしそうだと思ったら、もっと知りたいと思ったら、手伝いたいと思ったら、すべてのお問い合わせは、

《特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター》

住所 〒515-0043 松阪市下村町1115 Tel・Fax 0598-20-1511

ホームページ <http://www.mknpo.jp/> eメール info@mknpo.jp 月～金 10:00～17:00

特定非営利活動法人松阪子どもNPOセンター

Autumn 第112号

こども21

子どもたちがのびやかで豊かな「子ども時代」をすごすために

発行 2011年10月1日

〒515-0043 松阪市下村町1115

TEL・FAX 0598-20-1511

ホームページ <http://www.mknpo.jp/>

Eメール info@mknpo.jp



中高生 食育体験講座
慣れない手つきで調理中!
(8月4日)



小学校低学年合宿
真剣な表情で
キュウリを切っています
(8月25日)

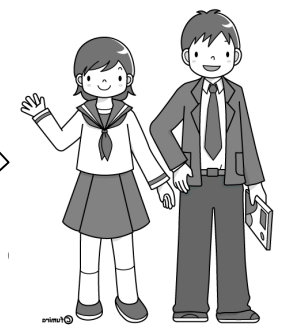
乳幼児保護者 食育体験講座
子どもと離れてゆったり
お菓子作り
(9月22日)

8月25日～26日多気町五桂池ふるさと村で、小学校低学年合宿を行い、1年生から3年生まで39名の子どもたちが参加しました。その中で、相可高校の食物調理科のみなさんにサポートしてもらいながら、夕食を作りました。まごの店の厨房で、日頃高校生たちが使用している調理器具での本格的な調理に、子どもたちは真剣なまなざしで取り組んでいました。初めは見てこちらの怖くなるような包丁さばきもだんだん慣れていき、「きゅうり いっぱい切ったよ。」「とり肉 切りにくかったわ。」という声や、「ごはん ならしたん。」「ひじき もりつけた。」「お茶 はこんだ。」という声が聞かれ、それぞれが自分の役割を果たしたことで、自信になったと感じました。

私たちが子どもと活動する時、「できるだけ口も手も出さず、まずは子どもがしたり考えたりするのを待ってみよう」というのが事前のスタッフ会議で必ず確認されます。それは、子どもが自分で決めることを大切にしたいからです。大人の考えからだと遠回りになることや、失敗しそうなこと、して欲しいのにしないことなど、自分の気持ちには目をつぶり、子どもの力を信じることを大事にしたいと考えています。しかしこれは頭ではわかっているも実践ではなかなかできず、あとの振り返りで「やってしまった」ことがたくさん出てきます。そのことをまとめて次の活動へつなげていきます。子どもと関わることは、私たち子ども支援者の学びの場でもあります。

理事長 塩谷 明美

行こう！「子ども支援フォーラム」へ



26日(土)



オープニング・基調報告について 【記念講演】

「子どもたちのために
私たちができること」

●14:30～15:30

会場：三重県総合文化センター中ホール
関西学院大学教授 村尾信尚さん
(NEWS ZERO メーンキャスター)

そしてシンポジウム・交流会へと続きます

～子どもの声が地域・社会を変える～

会場：三重県総合文化センター 11月26日(土)・27日(日)

子どもが主体の活動・支援ってどういうこと？

分科会⑩ [子ども支援の質の向上]

講演「権利主体は子ども！？」

～支援者としてここははずせない～

●10:00～12:00 子ども支援の現場から事例発表

●13:00～15:00 グループディスカッション

会場：フレンテ3階セミナー室C

対象：子どもに関わる全ての方 定員：50名

☆主体を侵すってどういうこと？

支援者のあり方について考えます

2年に一度、全国からチャイルドラインの
関係者が集まる全国フォーラム。
今回は「子ども支援」をテーマに、
チャイルドライン関係者だけでなく、
地域で子どもに関わるさまざまな立場の
方といっしょに学び、考え合います。

子ども条例ってどうしてできたんだろう？

分科会⑬ [子ども条例ワークショップ]

三重県子ども条例ワークショップ
～ぼくたち・私たちの子ども条例～

●10:00～12:00 話し合い

会場：フレンテ1階多目的ホール

対象：小学生・中学生・高校生世代・大人
定員：50名

☆「子ども条例」ができてなにかかわるの？

このフォーラムの目的



- 市町の行政や NPO・企業を含めた子ども支援のネットワークを構築する。
- 子どもの権利が保障され、子どもたちが自己肯定感を持ち、希望を持って社会で生きていけるよう、地方自治体レベルでの「子どもの権利条例」制定に向けての取り組みを進める。
- チャイルドラインを通して、地域・社会の子ども観を変え、地域づくりを進める。

賛同して協賛していただける個人・団体を募集しています。

・名義協賛 1口 1,000円・広告協賛 1口 3,000円



自分たちの思いを発信しよう！

分科会⑪ [子ども支援の質の向上]

子ども委員会

「ホントの自由を手に入れよう」

●10:00～15:00 話し合い&発信

会場：フレンテ2階セミナー室B

対象：中学生・高校生世代 定員：20名

☆大学生世代がファシリテーターをします

27日(日)

のおすすめ



子ども1人ひとりに合った支援とは？

分科会⑥ [子ども支援の社会化]

子ども支援ワークショップ

～ゆらぎを語り・聴きあうことの学び～

●10:00～15:00 3、4人のグループに分かれてワークショップ

会場：三重県総合文化センター2階第1ギャラリー

対象：チャイルドラインの受け手・支え手・地域で子ども支援の実践
に関わっている方 定員：150名

〈参加希望者へのお願い〉

それぞれの実践の現場で抱えている課題、不安、葛藤などを持ち寄ります。
子どもの権利の視点から自分なりに考えておいてください。

フォーラムの参加費

おとな	18歳以下
参加費(2日通し)・・・2,500円	参加費(2日通し)・・・1,000円
参加費(1日のみ)・・・1,500円	参加費(1日のみ)・・・500円
分科会のみ・・・1,500円	分科会のみ・・・500円
(別途テキスト代が必要な分科会あり)	(別途テキスト代が必要な分科会あり)
交流会・・・4,000円	交流会・・・2,000円

※三重県企画のシンポジウムとワークショップは無料

参加申し込みは、はがき・FAX・メールで

(特) 松阪子どもNPOセンター

〒515-0043 松阪市下村町1115 FAX 0598-20-1511 MAIL info@mknp.jp

申し込み締め切り・・・2011年10月31日

27日は全部で8つの分科会が開かれます。
くわしくは、参加募集チラシをご覧ください。